

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2010-515797(P2010-515797A)

【公表日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2010-019

【出願番号】特願2009-545166(P2009-545166)

【国際特許分類】

C 08 G 18/10 (2006.01)

C 08 G 18/65 (2006.01)

C 09 D 175/04 (2006.01)

C 09 D 175/06 (2006.01)

C 09 D 175/08 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/10

C 08 G 18/65

A

C 09 D 175/04

C 09 D 175/06

C 09 D 175/08

C 09 D 5/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年10月2日(2013.10.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

プレポリマー(プレポリマーA)を70℃に冷却し、次に32.0g(316.890mmol)のトリエチルアミンをこれに加え(COO⁻当量に対するトリエチルアミン当量=90%)；10分後、65℃にて、600gの中和されたプレポリマーを、10.9gの界面活性剤1を含む18℃にて冷却した1000.3gの水中に、激しく攪拌しながら10分で分散させた。ヒドラジン水和物の24.36%水溶液106.0gを、15分で滴加した。延長段階の間、36℃の最高温度に達した。30分間攪拌した後に、2240cm⁻¹におけるIRスペクトル中の-NCOピークは、消失した。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0045】

例I I ~ I V

プレポリマーA(例Iに記載したように合成した)からのアルカリ金属水酸化物を用いた揮発性アミンを含まない水性ポリウレタン分散体の調製。

例I I

11.67gの界面活性剤1および15.2gの水酸化カリウム(COO⁻当量に対する水酸化物当量=90%)を含み、18℃に冷却した1088.8gの脱塩水中に、65

に冷却した 600 g のプレポリマー A を、激しく攪拌しながら 14 分で分散させる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

例 I II

11.6 g の界面活性剤 1 および 10.8 g の水酸化ナトリウム (COO- 当量に対する水酸化物当量 = 90%) を含み、18 に冷却した 1080.7 g の脱塩水中に、65 に冷却した 600 g のプレポリマー A を、激しく攪拌しながら 14 分で分散させる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

例 I V

11.5 g の界面活性剤 1 および 11.4 g の水酸化リチウム (COO- 当量に対する水酸化物当量 = 90%) を含み、18 に冷却した 1067.5 g の脱塩水中に、65 に冷却した 600 g のプレポリマー A を、激しく攪拌しながら 14 分で分散させる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

プレポリマー (プレポリマー B) を、65 に冷却した。

9.6 g の界面活性剤 1 および 10.8 g の水酸化リチウム (COO- 当量に対する水酸化物当量 = 90%) を含み、18 に冷却した 893.2 g の脱塩水中に、65 に冷却した 500 g のプレポリマー B を、激しく攪拌しながら 14 分で分散させる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0055

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0055】

得られたプレポリマー (プレポリマー C) を 70 に冷却し、28.9 g (286.0 70 mmol) のトリエチルアミンを、攪拌しながらこの中に加える (COO- 当量に対するトリエチルアミン当量 = 90%) ; 温度を 65 にて 10 分間保持した後に、650 g のプレポリマー C を、18 に冷却した 820.5 g の脱塩水中に、激しく攪拌しながら 10 分で分散させる。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

例 V I I I

9.3 g の水酸化ナトリウム (COO- 当量に対する水酸化物当量 = 90%) を含み、

18 に冷却した 878.0 g の脱塩水中に、67 に冷却した 650 g のプレポリマー C を、激しく攪拌しながら 10 分で分散させる。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0061

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0061】

例 IX

9.8 g の水酸化リチウム (COO⁻ 当量に対する水酸化物当量 = 90%) を含み、18 に冷却した 868.3 g の脱塩水中に、67 に冷却した 650 g のプレポリマー C を、激しく攪拌しながら 10 分で分散させる。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0066

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0066】

例 X I ~ X I I I

プレポリマー D (例 X に記載したように合成した) からのアルカリ金属水酸化物を用いた水性アニオン性ポリウレタン分散体の調製。

例 X I

10.84 g の水酸化カリウム (COO⁻ 当量に対する水酸化物当量 = 95%) を含み、18 に冷却した 1057.1 g の脱塩水中に、65 に冷却した 650 g のプレポリマー D を、激しく攪拌しながら 10 分で分散させる。

【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

例 X I I

7.73 g の水酸化ナトリウム (COO⁻ 当量に対する水酸化物当量 = 95%) を含み、18 に冷却した 1051.9 g の脱塩水中に、65 に冷却した 650 g のプレポリマー D を、激しく攪拌しながら 10 分で分散させる。

【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0070

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0070】

例 X I I I

8.12 g の水酸化リチウム (COO⁻ 当量に対する水酸化物当量 = 95%) を含み、18 に冷却した 1043.3 g の脱塩水中に、65 に冷却した 650 g のプレポリマー D を、激しく攪拌しながら 10 分で分散させる。

【誤訳訂正 12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0073

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0073】

プレポリマーを 80 に冷却し、13.8 g (124.464 meq) のポリイソシアネート 2 を、攪拌しながら加える。尚存在する遊離の -NCO 基の決定により、約 5.5 1 重量 % の計算値が得られた。

70 に冷却した 400 g の得られた中和されたプレポリマー（プレポリマー E）を、
5.88 g の水酸化リチウム (COO⁻ 当量に対する水酸化物当量 = 93 %) を含む 59
4.0 g の 18 に冷却した脱塩水中に、10 分で分散させた。